



「里山基本計画」の策定に向けた

里山活動を考えるワークショップ ニュース



みなさんこんにちは！

長久手市では、市内の里山を保全・利活用するため、平成27年度に「長久手市里山プラン」を策定し、様々な取組みを行っています。

今年度は、このプランに基づく「里山基本計画」の策定に向け、市民のみなさんと一緒に行う里山活動の内容や、里山活動の拠点となる施設のあり方について考えるためのワークショップを行っています。

初回となる第1回ワークショップでは「長久手の里山の状況を学ぼう！」と、9月20日（木曜日）に平成こども塾丸太の家で開催し、地元区長さん、様々な里山活動に取り組んでいる団体の方々、市の職員を含め、35名の方に参加いただきました。



第1回ワークショップ「長久手の里山の状況を学ぼう」を開催！

■日 時：平成30年9月20日（木曜日）19：00～21：00

■会 場：平成こども塾 丸太の家

■参加者：35名

■本日のプログラム：

- 19:00 ① 開会・趣旨説明
 - ・ワークショップ開催の趣旨と本日のプログラムの説明
- 19:10 ② 里山プラン、平成こども塾マスタープランの紹介
 - ・平成27年度に策定した「長久手市里山プラン」、「長久手市平成こども塾マスタープラン」の紹介
- 19:20 ③ 自己紹介
- 19:35 ④ 軽食の準備、席の移動
 - ・里山の味覚を味わいながら・・・
- 19:45 ⑤ 里山活動の紹介
 - ・活動を実践している「平成こども塾サポート隊」、「長久手みなみ里山クラブ」、「ながくて里山クラブ」、「長久手湿地保全の会」、から活動紹介
- 20:10 ⑥ こんな里山にしたい！【意見交換】
 - ・「こんな里山にしていきたい」、そのために「こんな活動をしていきたい」など、参加者それぞれの里山への想いを発言！
- 20:50 ⑦ まとめ
 - ・本日のまとめ/次回の案内



① 開会・趣旨説明

最初に、長久手市建設部 角谷部長が、ワークショップ開催のあいさつを行いました。

長久手市に残る貴重な里山への市民の理解、関心を高めつつ、里山を保全・活用するための方策、持続可能な里山活動ができる人材、体制づくり、里山活動の拠点となる施設のあり方などをみなさんと一緒に考えていくためにワークショップを行うことなどの趣旨説明を行いました。



② 里山プラン、平成こども塾マスタープランの紹介

みどりの推進課と平成こども塾の職員が、里山基本計画を考える上で前提となる、平成27年度に策定した「長久手市里山プラン」と「長久手市平成こども塾マスタープラン」の概要の説明を行いました。

③ 自己紹介

第1回目は、参加者同士で知らない方も多いことから、参加者同士の交流、関係性を高めるために、本日出席している地元区長さん、様々な里山活動に取り組んでいる団体の方々、市の職員など総勢35名が車座になって一人ずつ、「お名前、所属、里山の魅力」などを語っていただく自己紹介を行いました。

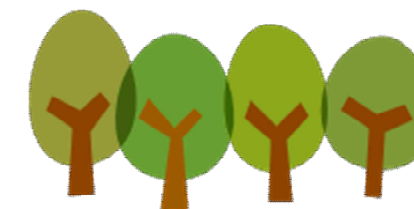
一人30秒と短い時間での自己紹介でしたが、参加者それぞれの里山への想いなどが少しだけ共有できました。



④ 軽食の準備、席の移動／⑤里山活動の紹介

今回は里山の恵みを味わってもらおうと、平成こども塾サポート隊の協力を得て、里山で採れた食材を使った「栗おこわ」や「お味噌汁」が振る舞われました。

参加者の方々は秋の里山の味覚を味わいながら、市内で里山保全などの活動に取り組む「平成こども塾サポート隊」、「長久手みなみ里山クラブ」、「ながくて里山クラブ」、「長久手湿地保全の会」の4団体から、団体設立の経緯や活動内容などを話していただきました。



⑥ こんな里山にしていきたい！【意見交換】

4つのグループに分かれ、テーブルファシリテーターの進行で、「①こんな里山にしていきたい！」と、長久手の里山が目指す姿や目標像を考えていただきながら、「②それを実現するための活動・取組みのアイデア」を出していただくワークを行いました。

「子ども、高齢者、障がい者など誰もが関わる楽しい里山を目指そう！」、「きれいな竹林にしていこう！」、「里山の価値を高めよう！」、「竹を使って拠点を作っていこう！」、「里山大学を作ろう」など、様々なアイデアが出されました。

長久手の里山への想い～こんな里山にしたい！～

① こんな里山にしていきたい！
～長久手の里山がめざす姿（目標像）～

② それを実現するための活動・取組みのアイデア
～「作業内容」、「人材育成」、「啓発活動」 など～

お名前・所属

⑦ まとめ

各テーブルファシリテーターより、グループで話し合ったあった内容を共有する発表を行いました。



なお、グループ内で出された意見は、次のようになっています。

【1 グループ】

①こんな里山にしていきたい！	②それを実現するための活動・取組みのアイデア
子どもが興味を湧く空間、心が安らぐ空間にする。Ex.キャンプができる場	里山が持っている資源の調査と、その資源を活用した取組みの開発
貴重な動植物を保全していきたい	獣害対策。水田維持のための方策
東山地区は貴重植物、昆虫が残っています。里山風景を残していきたい	一般の方が里山を散策できるように散策路をつくっていかれたらと思っています
障がい、高齢者役割を持ち、地域と交流できる場所。子どもも！	里山プランをまずは知ってもらう。理解者を増やす！
使われる、利用される金山としての里山	大人も子どももバーチャルでない実感のある生活へ。お金で買えない本物の衣食住を里山からつくりだす。竹の子、菌、米、まき（ストーブ）、食器、絹、野菜、果物
竹やぶ→竹林へ。 農作放置→若い人に農業の機会を！	何れも市役所の主導で…
子どもが遊ぶ里山	親、先生の自然への関わり。ビオトープカルテの作成
里山の管理は地域住民、ボラで行う	管理の作業等をスマイルポイントで評価する

【2 グループ】

①こんな里山にしていきたい！	②それを実現するための活動・取組みのアイデア
竹林整備をして散策路をつくる	市民全体に呼びかけ、半日でも良いから竹林整備日をつくる
幅広い人が楽しめる里山	様々な体験活動、見学会の実施（里山の魅力を知ってもらうため）
のんびりくつろげる、散歩ができる	草刈りや整備を皆で行う、部活とか授業で子どもたちが行う
子どもたちが自然と触れあえる 年配の方も安心して歩ける里山	山道の整備、広場の整備
香流川の水をきれいにしたい 川もきれいにする	上流施設の水処理。各所の井戸を掘り浄化する
子どもが安心して楽しめる里山	竹やぶ、雑草の整備
気軽に行って楽しめる	プレーリーダーならぬ里山リーダーがいたらいいな。遊び方、子どもの面倒

【3 グループ】

①こんな里山にしていきたい！	②それを実現するための活動・取組みのアイデア
人も生物もみんなおいしい里山	里山ビットコイン
みんなが集える里山（リピーター頼みでなく幅広く。老若男女）プログラムを幅広く	啓発PRが少なすぎると思う（広報だけ？）（広く周知させたい）
1年を通じて遊べる場所	炭作り、キノコ栽培、竹の子採り、柿他の実の収穫、赤ねずみの穴探し、ヒメボタルの保全・観察会
まずそこに暮らす人がこち良く、お客様でなく、自らが楽しく緑を守る、育てる	人と交わる、発信できる芸術家 野菜は近所からおすそ分け。助けなくなっちゃう
御嶽山の所は守りたい！歩いて健康になれる里山。竹やぶから竹林に！	竹を使った家を建てる。床、壁
子どもも大人も自然に親しめる、自然を学べる場所	散策路づくり、湿地の木道づくり、銘木板、道標の整備を楽しむイベント
里山の生物の保全（環境維持） 人と人を結びつける里山 子どもの思い出づくりのできる里山	親子で行う里山での田んぼでの稲刈り体験～餅つきの一連作業。間伐作業。遊歩道の散歩、小学校の遠足 人材育成→講習会への参加、里山づくりを全員で実施
子どもから高齢者、障がいを持つ方、いろいろな人たちが繋がり交流できる場 障がいを持つ方の交流、就労の場が増えたらいいなあと。緑を守る、管理できる仕組み	誰でも参加しやすい広報活動
新庁舎を福井茨ヶ廻間地区へ移転 防災機能を持つ里山整備	里山大学LLP（有限責任事業組合）を設置

【4 グループ】

①こんな里山にしていきたい！	②それを実現するための活動・取組みのアイデア
少しでも良い状態の里山を次世代に残したい。市民に気軽に来て、知ってほしい	会として協力できることはやって行く。来てもらうための交通手段（まずは観察会等）
プレーパークで子どもがいきいきと活動する。	ツリークライミング体験。カブトムシ・クワガタ見学会。いろいろな竹細工づくり。テント泊体験
子ども、大人一体となって過ごせる里山	遊べる工夫、ぼーっとできるような場所
生き物との共生。みんなが楽しめる場所。気軽に来られるような	作業内容→下刈り、枝拾い。人材育成→若い人。啓発活動→パンフの作成
今を伝える	家族から
平成こども塾の周囲で農業をする人が年々、減少していて、今の農業を維持するのもむずかしい。この問題をどう解決していくか	平成こども塾でこどもファームや学校連携を担当しているがいろいろ問題がある。私個人のこととして学校連携を担当しているが、後を任せる人がほしい
四季の自然美の創生を保全。子どもから老人まで楽しめる里山	人材確保と育成システムの構築
いろいろな価値観を持つ人が満足できる里山	人材育成は友だちと友だちを繋ぐネットワークづくり

今回の案内

- ◆今回は、現地見学会として、10月16日（火曜日）10時に平成こども塾に集合し、里山保全アドバイザーの眞弓浩二先生と木望の森周辺の散策などを行います。
- ◆第2回ワークショップは、10月25日（木曜日）19時から、里山を保全・活用するための取組みなどを考えます！

【お問い合わせ先】

長久手市みどりの推進課
電話：0561-56-0552